

教育アドバイザーにインタビュー!

《質問内容》

- ① 先生の好きな時間はどんな時ですか?
- ② 今まで 1 番驚いたことはなんですか?



担当地域
スバイリエン
長沼健先生

- ① 日頃のんびりして、急に切羽詰まった時 (こういう時にアイデアが出る気がする)。カンボジアの現状はこれに近い)
- ② 教育でいうと、見事なパターン化でしょうか。一つの例が決まり事になってしまう。



担当地域
プノンベン
プレイベン
石澤博通先生

- ① 新しい教材や実験の仕方をあれこれ考えたり、考えたことを基に教材製作や其の方法が正しいか実験をしたりしている時。カウンターパートと授業の内容や実験などについて話し合う時。
- ② 学習の内容をより理解できるように新しい教材や実験の仕方を考えること。カウンターパートが授業でどのようなことを欲しているかを把握し、教材や資料、実験の仕方などを提供すること。



担当地域
コンポントム
鈴木光次郎先生

- ① カウンターパートの代理で生徒に理科を教えているとき。考えた流れどおりに授業が進むことや、必要になるだろうとあらかじめ準備・整理していた教具が使える場面になったりするので…。大いなる自己満足ですが。
- ② 始業時刻が早く (7 時から)、昼休み時間が長く (2 時間)、平日 8 時間、土曜 4 時間の授業が組まれていること。そして、授業が突然変更されること。資料、実験の仕方などを提供すること。

国境なき教師団 教材開発室 vol.2

日本の学校には、当たり前理科の教室があり、実験道具が揃っています。しかし、カンボジアの教員養成校や、各学校には、理科室も実験道具も揃っていない学校が多くあります。その中で、「国境なき教師団」の教育アドバイザーの先生方は、工夫を凝らし、現地にあるもので実験道具を作っています。シーセフのスタッフも先生方の教材開発には、驚かされること多くあります。今回は、スバイリエン州の教育アドバイザーの長沼先生が作製したものをご紹介します!

「自作! 電気回路板」



一般的な実験で、電池や電球を導線で繋ぐとき、長さがバラバラになってしまい、曲がってしまうことが多くあります。しかし、木の板にビスを取り付けることで、まっすぐに導線を結ぶことができます。電池ホルダーは厚紙で作成しています。

「自作! スプーンの釘抜き」



固体の体積変化の実験で、カンボジアでは輪ゴムを使用して実験を行っています。しかし、輪ゴムでは大きさの変化を判断することが難しく、カンボジアでも手に入るスプーンで代用しました。学生も大きさの変化がわかりやすく、実験に対し興味を持ってきています。

教育アドバイザーを募集しています!

教育アドバイザーとして、カンボジアの教育をサポートして下さる方を募集しています。ご関心のある方は、シーセフ日本事務局までご連絡ください。(下記参照)

- ❖ 応募資格
小学校教師経験者で健康な方。派遣の時点で満 69 歳以下の方。(ビザの発給が困難と思われる事情を持つ方はご遠慮ください。)語学に対する規定はございません。
- ❖ 派遣期間
1 年以上、2 年まで。(原則 1 年単位)
- ❖ 応募方法について
CIESF 事務所まで応募用紙を郵送くださるか、メールに添付してお送りください。お送りいただいた履歴書の返却はいたしませんので、必要な方はコピーを取って保管してください。
・送付先: 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5 URD 渋谷第 2 ビル 4F
公益財団法人 CIESF 事務局 宇野宛
・メールアドレス: info@ciesf.org
- ❖ 説明会について
カンボジアでの教育アドバイザー経験者もしくは CIESF 現地事務所スタッフを講師に迎え、現地の生活等についての説明会を不定期(年 1,2 回程度)に行います。ご興味のある方はまず、お問い合わせの上、説明会にご参加ください。

発行: 公益財団法人 CIESF

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2 ビル 4F

*このニュースレターは株式会社オピカ様のご支援で印刷しました。



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2017 July

第 42 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。



教師派遣事業

国境なき教師団

カンボジア

「国境なき教師団」の活動場所



「国境なき教師団」とは、国境を越えて教育支援を行うシーセフの教師たちの組織です。カンボジアにおいては、ポル・ポト政権時代に崩壊した教育のたてなおしに不可欠であるのが、教師の質の向上です。「国境なき教師団」では、2009 年からカンボジアの教員養成校に日本人ベテラン教師を教育アドバイザーとして派遣する事業を行ってきました。教師の質の向上は、子どもたちが質の高い教育を受けることとなり、いずれその地方の、そしてカンボジア全域の教育の質の向上へとつながると信じています。2017 年 7 月現在、プノンベン市・プレイベン州・スバイリエン州・コンポントム州の小学校教員養成校で活動を行っています。(左記の図)2017 年 7 月までに派遣した教育アドバイザーは、のべ 28 名となりました。

魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える

■ 支援の考え方 ■

「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教える」という考え方で支援活動を行っています。教員養成校では、教育アドバイザーが、教師の卵である学生に直接指導するのではなく、カウンターパート(カンボジア人教官)にアドバイスをしながら一緒に授業準備をします。そのアドバイスや準備を基に、学生に教官が授業を行います。

■ ティームティーチング ■

授業は基本的にカンボジア人教官が主体で行いますが、教育アドバイザーとティームティーチング方式を取り入れています。シーセフ専任通訳スタッフ(日本語⇄クメール語)を介して活動を行っています。

「国境なき教師団」の一日に密着！

取材校：プノンペン小学校教員養成校
教育アドバイザー：石澤博通先生
サポートスタッフ(通訳)：フン・ピーロン、ケン・ソペーブ

8:00 授業準備

サポートスタッフ(シーセフの通訳)と一緒に、今日の授業やカウンターパート(カンボジア人教官)との打ち合わせの準備を行います。右の写真は、映像教材を制作している様子です。カンボジア語にない、理科の専門用語をどう説明するのが難しいそうです。



9:30 授業の打ち合わせ

カウンターパートと次の理科の授業について打ち合わせをします。「どんな実験を行うのか?」「どのような進め方で授業を行うのか?」など、カウンターパートの意見を聞きながら、アドバイスをしていきます。カウンターパートのほとんどは、シーセフの支援以前は、実験の授業を行ったことないため、実験道具の使い方や説明の仕方などから教えていきます。熱心なカウンターパートが多く、自分が理解するまで実験を繰り返したり、教育アドバイザーに質問します。

14:00 授業のサポート

実験では、学生たちが 5~6 人の各班で行うため、教育アドバイザーも一緒にサポートします。



また、授業時間に余裕があるときは、カウンターパートからのリクエストで教育アドバイザーが授業を行うこともあり、学生から面白いと評判のある時間です。

16:00 教材作成

授業では、日本とカンボジアでの気候の違いや文化の違いなどから、スムーズに実験が進まないことも多々あります。教育アドバイザーは、「どんな教材を準備したら良いか?」「どう教えたらいのか?」など毎日、試行錯誤をしながら活動してくださっています。教育アドバイザー、サポートスタッフの頑張りのおかげで、各教員養成校の教官、学生たちも意欲的に学習をしています。



17:00 帰宅

お疲れさまです！

「国境なき教師団」を支えるメンバー



「国境なき教師団」に不可欠な存在が、サポートスタッフです。現在、8名のサポートスタッフが、各地域で活躍しています。サポートスタッフは、日本人の教育アドバイザーとカンボジア人の教官の間で日々の通訳を行ったり、指導案や学習教材の翻訳を行っています。シーセフが支援しているのは、理科と算数に限定されていますが、理科や算数は専門用語も多く、また活動が円滑に進むためには、通訳自身が理解することも時には求められます。サポートスタッフは、日々の業務のほかにも、個々が継続した学習を行い、毎月日本語や専門知識のテストを受けています。

教育アドバイザーと教官が行う授業に際しては、通訳としての予習や復習も必要です。またシーセフで働きながら、土日に大学に通っているスタッフも多数います。シーセフのサポートスタッフは、今後も、カンボジアの教育の質の向上のために、一緒に頑張っていきます。

ご支援ありがとうございます(6月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター他)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団他)には、心より感謝申し上げます。6月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(6/1~6/30)。



6月

■法人サポーター(プラチナ):株式会社マックスエクスプレス/株式会社ゆたか/株式会社ストーン・フィールド/株式会社フォーバル ■法人サポーター(ゴールド):株式会社サンボレ/株式会社いがた三昧/株式会社nokoso/株式会社カクノ ■法人サポーター(シルバー):原&アカウンティングパートナーズ(原税務会計事務所)/株式会社 SBS/株式会社アリックス/福井キヤノン事務機株式会社 ■法人サポーター(ブロンズ):株式会社鳳揚社 ■支援企画寄付:有限会社アップライジング/スマイルキューブ株式会社/リネットジャングル株式会社/株式会社ストーン・フィールド ■スペシャルサポーター:本多 均/森 拓也/岩本 信一 ■個人サポーター:須田 憲和/伊達 俊太郎/天谷 幸子 ■「国境なき教師団」応援団:山田 史子

※以上敬称略

CIESF サポーター募集！ 途上国の未来を応援してください。

都度寄付と継続寄付をお選びいただくことができます。

継続寄付

- 法人サポーター 1口 10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口 5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口 1万円(寄付から1年間)

都度寄付

- 1カ月に1度 1000円からご支援いただけます

シーセフ 毎月



銀行振り込みによるご寄付

- 三菱東京 UFJ 銀行 青山支店【普通】 口座番号:0021714 口座名:公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫
- ゆうちょ銀行 〇一九支店(019)【当座】 口座番号:0263008 口座名:公益財団法人 CIESF
- 楽天銀行 タンゴ支店【普通】 口座番号:7030322 口座名:公益財団法人 CIESF

クレジットカードによるご寄付

- シーセフのホームページ、右上の「寄付する」からお申込みいただけます。
- 下記の URL からのご寄付もご支援いただけます。
<https://kessai.canpan.info/org/ciesf/sustain/101570/>

※シーセフへのご寄付は、所得税・法人税の税制上の優遇措置があります。
※個人情報は、等団体での活動のためにのみ使用し、厳重に管理させていただきます。



「国境なき教師団」応援団も募集しています!(年間1万円~)
カンボジアの教育の質向上のために、ご協力よろしくお願い致します。
*詳しくは、日本事務局までご連絡ください。